

平成28年度 決算のあらまし



かごしま連携中枢都市圏



高齢者福祉センター伊敷・西部親子つどいの広場



かんまちあ (上町ふれあい広場・上町の杜公園)



明治維新150年カウントダウン事業

目次

- 28年度の主な事業実績 P1
- 28年度決算の状況 P3
- 一般会計決算額の内訳 P4
- 健全化判断比率と資金不足比率 P7

28年度の主な事業実績

「市民が主役の鹿児島市の実現」に向け、次の7つの基本政策の推進に重点的に取り組みました。

1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

①首都圏における“食の都かごしま”プロモーション事業〔6,151千円〕

首都圏において、鹿児島の食材を使ったフェアや試食会を開催しました。



②明治維新150年カウントダウン事業〔4,771千円〕

「薩長同盟・坂本龍馬新婚旅行」をテーマに、シンポジウムやバスツアーなどを開催しました。

③ぐるっと大使館活用事業〔570千円〕

東南アジアなど世界各国の大使館に向けて、観光情報等の発信を行いました。

④東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致事業〔342千円〕

平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けた活動を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 五代友厚誕生地整備事業
- “美味のまち鹿児島”づくりイベント支援事業
- 桜島・錦江湾ジオパーク推進事業
- 世界遺産推進事業
- かごしま水族館展示更新事業
- 鹿児島マラソン負担金
- 多彩な都市交流事業
- 第3期観光未来戦略策定事業
- 第2期グリーン・ツーリズム推進計画策定事業 など

2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

①桜島大規模噴火対策事業〔28,993千円〕

複合災害時の避難計画や長期避難生活支援対策の策定など火山災害対策を強化しました。



②出会い・ふれあい企業対抗運動会開催事業〔6,551千円〕

企業対抗運動会及び参加者交流会を開催し、一企業の枠を越えた出会いの場を提供しました。



③保育士・保育所支援センター設置運営事業〔5,951千円〕

潜在保育士の再就職支援等を行う保育士・保育所支援センターを設置し、保育士確保対策の充実を図りました。

④障害者差別解消推進事業〔3,988千円〕

障害を理由とする差別を解消するため、障害者基幹相談支援センターに専門の相談員を配置したほか、市民や事業者に対し、周知・啓発を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 民間建築物耐震化補助事業
- 桜島地域避難施設整備事業
- 学生による挙式プロデュース事業
- 婚活サポート事業
- ライフデザインセミナー開催事業
- こども医療費助成事業
- 西部親子つどいの広場整備事業
- 高齢者福祉センター伊敷建設事業
- セーフコミュニティ推進事業 など

3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

①ゼロエネルギー住宅整備促進事業補助金〔52,113千円〕

住宅用太陽光発電システムとホーム・エネルギー・マネジメント・システムの併置等に対し助成しました。



②リデュース・リユース・リサイクル（3R）推進事業〔13,501千円〕

3Rの意識高揚と実践活動の推進を図るため、広報及び啓発を行いました。

③市立病院跡地緑地整備事業〔7,407千円〕

市立病院跡地緑地の整備に向けて、検討委員会を設置し、基本計画（素案）を作成しました。



④武岡公園整備事業〔14,688千円〕

武岡公園の都市計画公園区域を変更するとともに、整備に向けて、基本設計等を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 木質バイオマス熱のモデル的導入事業
- 南部清掃工場ごみ焼却施設・バイオガス施設整備事業
- コミュニティサイクル運営事業
- 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備（上町の杜公園）事業 など

4 地域産業が元気で生き生きと働けるまち

①中小企業UIJターン人材確保支援事業〔1,668千円〕

UIJターンによる人材確保を支援するため、県外の合同企業説明会等へ参加した中小企業に対し助成しました。



②クリエイティブ人材誘致事業〔3,931千円〕

U・Iターンイベント等を実施し、首都圏等に集中しているクリエイティブ人材を誘致しました。

③千日町1・4番街区市街地再開発事業〔182,153千円〕

市街地再開発事業の都市計画決定を行うとともに、再開発ビルの基本設計や資金計画などの事業計画作成に対し助成しました。

④中小企業資金融資事業〔277,361千円〕

創業支援資金の年齢要件の廃止や自己資金要件の緩和を図るとともに、信用保証料に対する助成を拡充しました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- ワーク・ライフ・バランスを目指す事業所応援事業
- 企業立地推進事業
- 新産業創出支援事業
- クリエイティブ産業創出支援事業
- 新規就農者支援対策事業 など

5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

①新・郷中教育推進事業〔24,197千円〕

放課後子ども教室を30校区で開設しました。(うち15校区を平成28年度に新設)



②校舎・屋体等整備事業〔1,441,972千円〕

校舎、屋内運動場の増改築、大規模改造等を行うとともに、中山小の児童数増加に対応するための用地取得などを行いました。

③第75回国民体育大会準備事業〔5,922千円〕

第75回国民体育大会の開催に向け、競技運営等の計画を策定するなど、準備を進めました。

④ふるさと考古歴史館リニューアル事業〔148,535千円〕

発掘体験や不動寺遺跡のコーナーの新設など、常設展示室のリニューアルを行いました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 特別支援教育体制推進事業
- 臨床心理相談員活用事業
- パークゴルフ場整備可能性調査事業
- 地域公民館整備事業
- 文化薫る地域の魅力づくりプラン推進事業
- 男女共同参画計画推進事業 など

6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

①鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業〔1,002,568千円〕

駅前広場・自由通路の都市計画決定などを行ったほか、上町ふれあい広場の供用を開始しました。

②中央町19・20番街区市街地再開発事業〔86,557千円〕

再開発ビルの基本設計や資金計画などの事業計画作成に対し助成しました。



③立地適正化計画策定事業〔11,315千円〕

コンパクトなまちづくりの推進に向けて、「かごしまコンパクトなまちづくりプラン」を策定しました。

④公共交通不便地対策事業〔133,194千円〕

あいばすや乗合タクシー等の運行を行うとともに、小原地域及び小野・伊敷地域において、あいばすの運行を開始しました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 谷山地区連続立体交差事業
- 土地区画整理事業の推進
- 安全安心住宅ストック支援事業
- 次世代へつなぐ景観誘導事業
- 街路事業
- 公共交通ビジョン推進事業 など

7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

①連携中枢都市圏形成事業〔8,303千円〕

日置市、いちき串木野市及び始良市と連携協約を締結し、「連携中枢都市圏ビジョン」を策定しました。

②第五次総合計画後期基本計画策定事業〔10,051千円〕

まちづくりの基本的な指針となる第五次総合計画の後期基本計画(29~33年度)を策定しました。

③コミュニティビジョン推進事業〔117,179千円〕

地域コミュニティ協議会のプラン策定等の活動を支援するとともに、組織運営に対する助成を拡充しました。



④移住促進事業〔3,293千円〕

PR動画・パンフレットを作成したほか、移住イベント等で本市の魅力情報を発信しました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 情報セキュリティ強化対策事業
- 「愛して!!かごしま」ふるさと寄附金サポート事業
- 地方創生推進事業
- 期日前投票所の増設
- 本庁舎整備事業
- 町内会パワーアップ事業 など

平成28年度 決算の状況

区 分	歳入(A)	歳出(B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度 繰越財源(D)	実質収支 (C-D)
一般会計	2,540億1,633万円	2,469億9,546万円	70億2,087万円	16億8,488万円	53億3,599万円

区 分	歳入(A)	歳出(B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度 繰越財源(D)	実質収支 (C-D)
特別会計	1,362億7,485万円	1,404億 485万円	△41億3,000万円	0	△41億3,000万円
土地区画整理事業清算	107万円	0万円	107万円	0	107万円
中央卸売市場	22億9,466万円	22億8,098万円	1,368万円	0	1,368万円
地域下水道事業	6,154万円	5,275万円	879万円	0	879万円
桜島観光施設	8,999万円	8,999万円	0	0	0
国民健康保険事業	790億8,478万円	843億9,959万円	△53億1,481万円	0	△53億1,481万円
介護保険	470億4,164万円	464億 5万円	6億4,159万円	0	6億4,159万円
後期高齢者医療	71億 432万円	70億3,308万円	7,124万円	0	7,124万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	5億9,685万円	1億4,841万円	4億4,844万円	0	4億4,844万円

区 分	収入(A)	支出(B)	差引(A-B)
企業会計	574億3,532万円	449億4,130万円	124億9,402万円
病院事業	216億5,746万円	196億8,324万円	19億7,422万円
交通事業	135億3,296万円	50億6,348万円	84億6,948万円
水道事業	116億4,711万円	99億7,931万円	16億6,780万円
工業用水道事業	697万円	638万円	59万円
公共下水道事業	83億6,399万円	77億3,756万円	6億2,643万円
船舶事業	22億2,683万円	24億7,133万円	△2億4,450万円

※ 企業会計は収益的収支を税抜き額で表示しています。

【ポイント】

一般会計は、歳入額から歳出額を差し引いた額（形式収支額）は70億円ですが、ここから翌年度で支払わなければならない繰越財源17億円を引いた額（実質収支額）は、53億円となり、前年度に引き続き黒字を確保しました。

特別会計は、国民健康保険事業特別会計において53億円の赤字となりましたが、29年度からの繰上充用で対応しました。また、その他の特別会計は黒字又は収支均衡となりました。

企業会計は、船舶事業において2億円の赤字となりましたが、その他の企業会計は黒字を確保しました。

一般会計

市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計です。主な収入は、市税や国・県支出金などです。

特別会計

特定目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理する会計です。
〔28年度 8会計〕

企業会計

地方公営企業（市立病院、交通局、水道局、船舶局）の会計で、民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営する会計です。
〔28年度 6会計〕

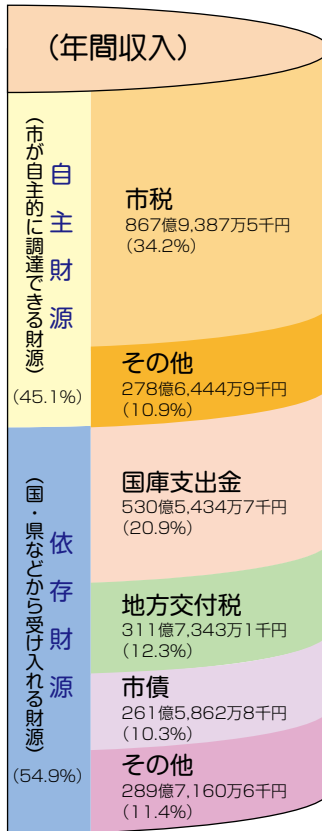
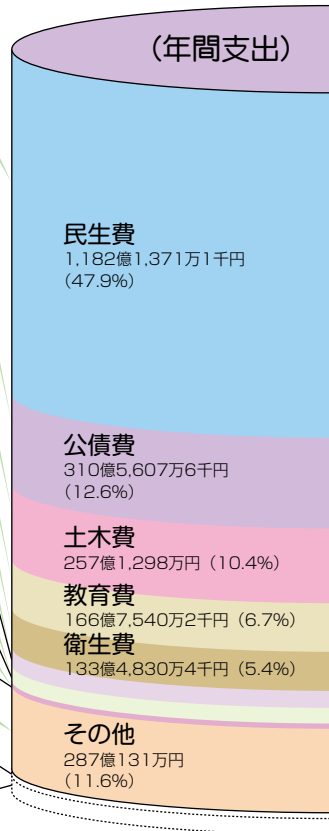
一般会計決算額の内訳

歳入：市税が増加
歳出：民生費が増加

歳出
2,469億9,545万9千円

歳入
2,540億1,633万6千円

- 子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に
- 市債の返済に
- 区画整理や道路、公園などの整備に
- 教育の振興に
- 環境や衛生の向上に
- 商業・観光の振興に
- 商工費
58億2,401万5千円 (2.4%)
- 消防・救急に
- 消防費
53億7,694万3千円 (2.2%)
- 農林水産業の振興に
- 農林水産業費
20億8,671万8千円 (0.8%)
- 市の運営などに
- 翌年度繰越財源
16億8,488万3千円
- 実質収支
53億3,599万4千円



- 市民税や固定資産税など
- 使用料や手数料など
- 国が市の特定事業に出したお金
- 国から交付されたお金。使い道は市が自由に決められる
- 銀行などから借り入れたお金（返済時に国から一部補てんあり）
- 県が市の特定事業に出したお金など

【歳出のポイント】

歳出総額は、2,470億円で、前年度比65億円 (2.7%) の増となりました。

歳出で最も多いのは、社会保障関係経費である子育て支援や生活保護費などに使われる民生費の1,182億円で、前年度と比較し、66億円 (5.9%) の増となっており、一般会計全体に占める割合が 47.9% になりました。

【歳入のポイント】

歳入総額は、2,540億円で、前年度比35億円 (1.4%) の増となりました。

歳入で最も多いのは市税の868億円で、固定資産税の増などにより、前年度と比較し、13億円の増になりましたが、地方交付税は、20億円の減となりました。

市民 1 人当たりの使い道は？

1人当たり約40万8千円のうち、福祉の充実に約19万5千円

一般会計の歳出決算額2,470億円の使い道を市民 1 人当たりに換算してみました。

**市民 1 人当たり
約40万8千円の使い道**



○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に
約19万5千円

○市債の返済に
約5万1千円



○教育の振興に
約2万8千円



○商業・観光・農林水産業の振興に
約1万3千円

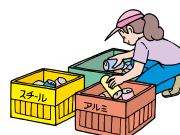
○消防・救急に
約9千円



○区画整理や道路、公園などの整備に
約4万3千円



○環境や衛生の向上に
約2万2千円

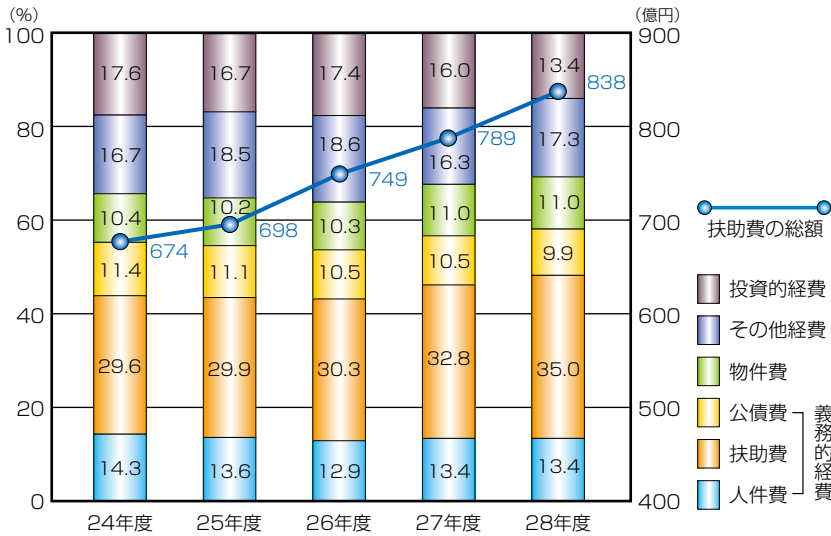


○市の運営などに
約4万7千円



歳出決算(性質別)の推移(普通会計)

扶助費は年々増加



【歳出決算のポイント】

生活保護や子育て支援、高齢者の医療などの扶助費が年々増加しており、28年度決算では、前年度より49億円増加し、全体の35%を占めています。

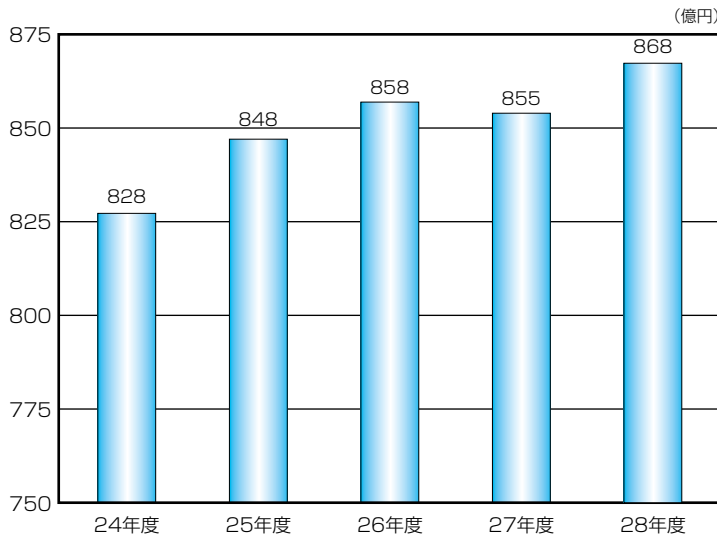
■用語メモ

「普通会計」とは、各市町村の決算状況を統一的に比較するために地方財政統計で用いられている会計区分です。

鹿児島市では、一般会計のほか、土地区画整理事業清算、地域下水道事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業の3特別会計を合わせたものです。

市税の推移

28年度は前年度より13億円増加



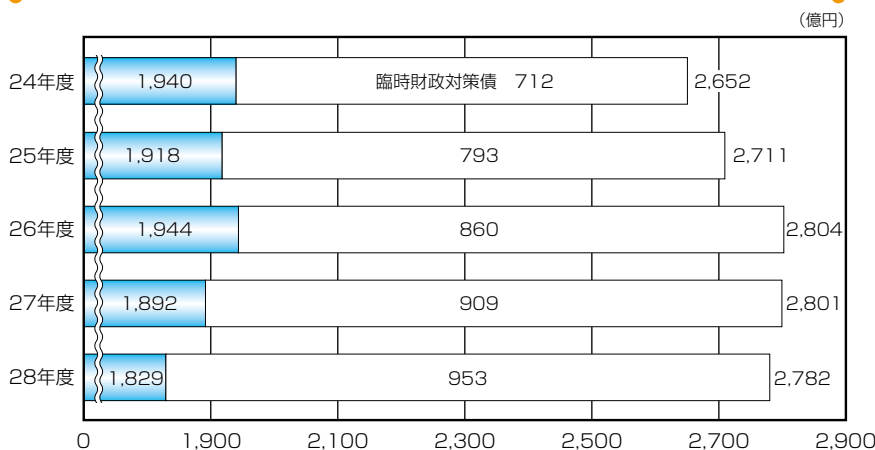
【市税のポイント】

市税は鹿児島市のまちづくりを行うための最も重要な財源で、市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。

28年度決算は、固定資産税が増加したことなどにより、前年度より13億円増の868億円となり、歳入全体の34%を占めています。

市債残高の推移

実質的な残高は減少傾向



- (1) グラフの右部分は実質的な地方交付税である臨時財政対策債です。
 (2) 左部分は臨時財政対策債を除いた残高です。

【市債残高のポイント】

市債は、道路や公園などを整備するにあたり、将来の市民の皆さんにも公平に費用負担をしていただくため、また、返済時に国から地方交付税が配分される観点から発行しました。

臨時財政対策債を除く実質的な市債残高は、前年度より63億円減少しました。

(市民1人当たり30万円となりました。)

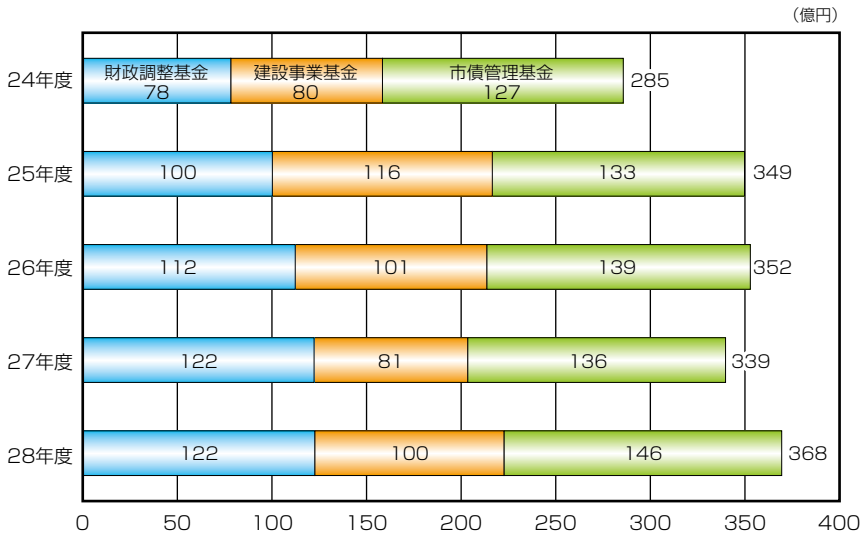
■用語メモ

「臨時財政対策債」とは、

本来は地方交付税として、国から配分されるお金を国の財政上の都合で市が借りているものです。返済はすべて国の負担です。

基金残高の推移

28年度は前年度より29億円増加



【基金残高のポイント】

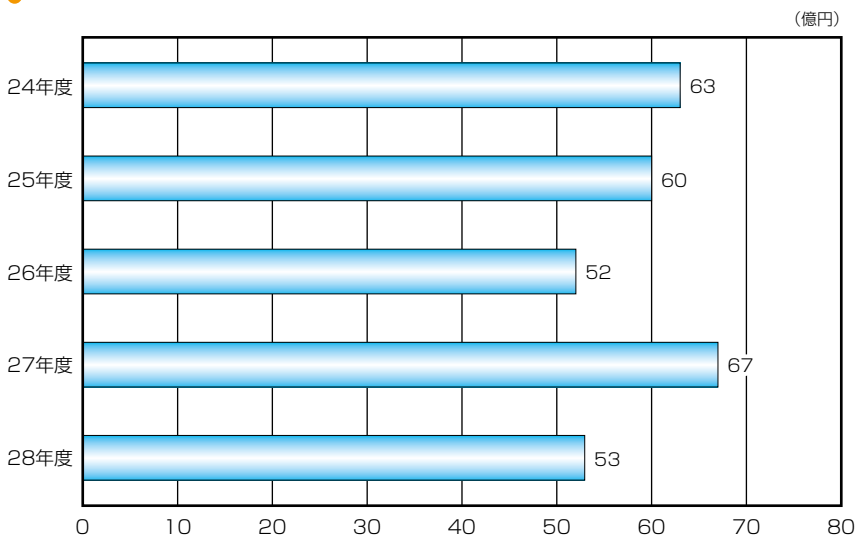
基金は、一般家庭の貯金に相当するもので、左の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行っています。

この3基金は、少子高齢化、人口減少、社会保障関係経費の増加、公共施設等の適正管理、災害などに対処していくために必要な財源です。

28年度の残高は、前年度から29億円増加し、368億円になりました。(市民1人当たり6万円となりました。)

実質収支の推移

28年度は53億円の黒字を確保



【実質収支のポイント】

事務事業のしゅん別や見直し、経費の効率的な執行を行ったほか、可能な限りの財源の確保に努めたことなどにより、28年度決算では、53億円の黒字額を確保し、引き続き、健全財政を維持することができました。

■用語メモ

「実質収支」とは、その年度の決算で、収支が赤字か黒字かを示す指標で、歳入と歳出の差引額から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額をいいます。

28年度決算のまとめ

本市の28年度決算は、前年度に引き続き黒字を確保し、実質的な市債残高も減少するなど、健全な財政運営を維持する中で、さまざまな施策を積極的に推進し、市勢の発展と市民福祉の向上に努めました。

今後見込まれる社会保障関係経費の増大など、財政状況は、厳しさを増していくと思われませんが、プライマリーバランスの黒字を確保しながら、可能な限り、各面からの財源を確保し、事業のしゅん別や見直しを行い、健全な財政運営に努めていきます。

■用語メモ

「プライマリーバランス」とは、借金(市債)を除いた歳入と返済(元金)を除いた歳出を比較したもので、歳入の方が多くなれば黒字となり、財政が健全であることを示します。

★予算や決算の状況は、

市ホームページ (【トップページ】→【市政情報】→【予算・決算・財政】→【財政状況】) をご覧ください。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

健全化判断比率と資金不足比率

※毎年度、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。

● 健全化判断比率

【健全化判断比率のポイント】

市の財政の健全度を測る指標の一つで、基準を超えた場合、計画を定めて財政対策に取り組むこととなります。すべての項目で、早期健全化基準内となっています。

4指標	内 容	28年度決算（速報値）		早期健全化 基準 （イエローカード）	財政再生 基準 （レッドカード）
			中核市順位		
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字の比率	—	—	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	全会計の赤字や黒字を合算した実質的な赤字の比率	—	—	16.25%	30.0%
実質公債費比率	借入金（地方債）の返済額やこれに準じた額の大きさを示す比率	3.2% (3.9%)	7位/48市 (8位/45市)	25.0%	35.0%
将来負担比率	一般会計などの地方債や将来支払う可能性がある負担などを加味した実質的な負債の比率	24.2% (24.4%)	18位/48市 (17位/45市)	350.0%	

※（ ）内は27年度決算

● 資金不足比率

【資金不足比率のポイント】

公営企業会計の財政の健全度を図る指標で、基準を超えた場合、計画を定め、経営改善に取り組むこととなります。28年度決算では、昨年度に引き続き、資金不足が生じている会計はありません。

公営企業会計	28年度決算	経営健全化基準
病院事業 交通事業 水道事業 工業用水道事業 公共下水道事業 船舶事業 中央卸売市場 桜島観光施設	— (—)	20.0%

※（ ）内は27年度決算

～「かごしま市決算のあらまし」の作成に当たって～

60万市民の皆さんからお預かりした大事なお金。

市民と協働のまちづくりを進めていくために、大切にに使わせていただきました。

これからの「予算」だけでなく、取組の成果である「決算」を見やすく、わかりやすくお伝えし、あすの鹿児島市につなげていくために「平成28年度決算のあらまし」を作成しました。

市政の主役である市民の皆さんのさまざまなご活躍を、健全財政の維持と創意と工夫に満ちた行財政運営で、これからも支えてまいります。

平成28年度 決算のあらまし

編集／発行：鹿児島市財政課

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 ☎099-216-1155